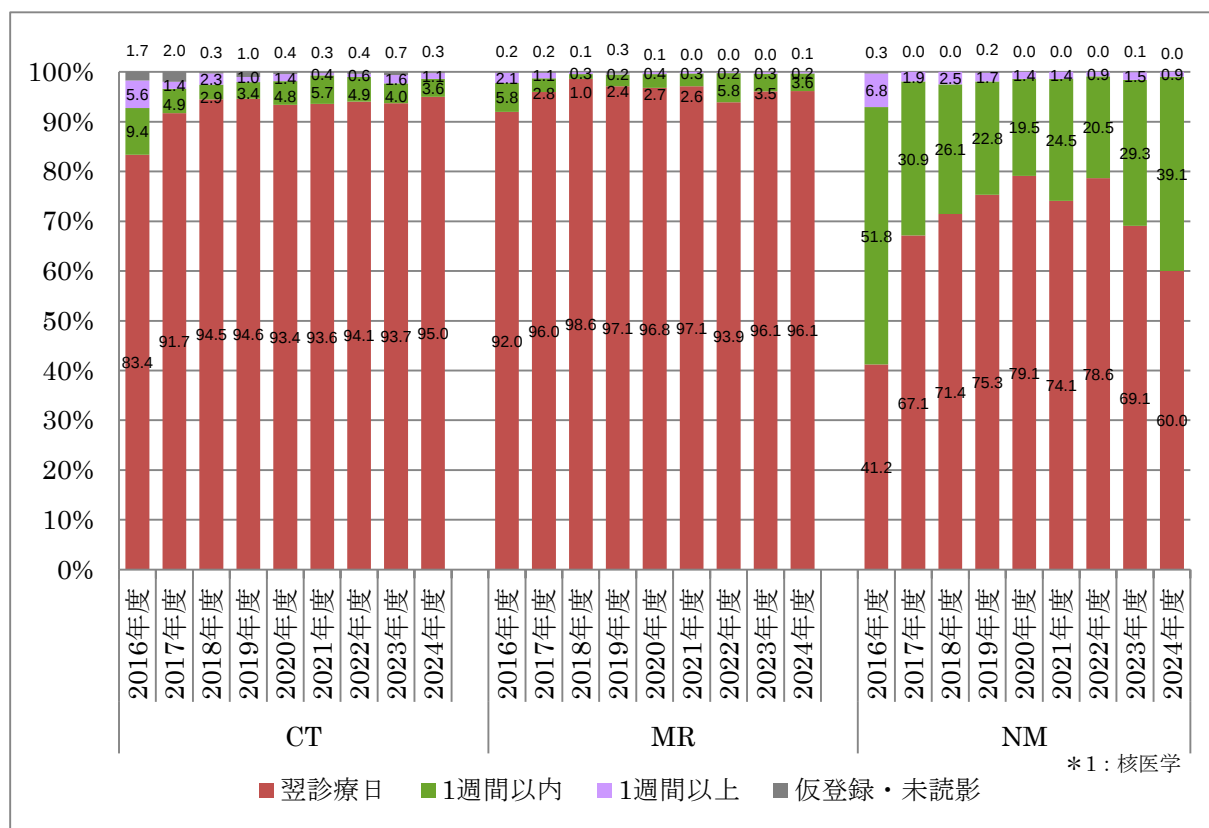


放射線科医による読影レポート作成時間の割合



●解説

高度な医療を提供するためには、画像診断をより早くより正確に行うことが必要です。提示したデータは放射線科医によるCT・MRI・核医学における画像診断結果の作成時間です。CT・MRI・核医学が放射線科医の監督の下に適切に行われていることを示す指標ともいえるので実施率が高いことが望まれます。画像診断管理加算4では翌診療日までに80%以上（CT・MRI・核医学の合算）の報告書作成が算定要件となっています。

●定義

「放射線科医が読影したレポートの提出時間ごとのレポート数」を「CT・MRI・核医学の検査実施件数」で除した割合（%）です。「放射線科医」とは医科診療報酬点数表の画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。

●算式

分子：放射線科医が読影したレポートの提出時間ごとのレポート数

分母：CT・MRI・核医学の検査実施件数

●結果

翌診療日までの報告書作成率はCT・MRI・核医学の合算で92.9%となった。

データ提供：放射線部